

No. 182

2024.10

令和6年10月

かけはし



令和7年度岩手県倫理法人会「年度はじめ式」

- 令和7年度岩手県倫理法人会活動方針……2
- 岩手県倫理法人会「年度はじめ式」開催……3
- 単会会長・専任幹事紹介……4
- 令和7年度委員会の紹介……6
- 岩手県倫理法人会女性委員会主催
アフタヌーンセミナー「天命に運ばれる生き方」……7
- 第7期岩手倫理経営塾 塾生募集！……7
- 倫理との出会いと今／万人幸福の葉……8



郷土の偉人、新渡戸稲造の「願はくはわれ太平洋の橋とならん」から、倫理法人会の活動を紹介することで会と会員の皆さんをつなぐ架け橋となればとの思いから名づけられました。





明るく 楽しく ためになる 倫理法人会

会長 ひ なた かず ゆき 日 當 和 孝

コロナ禍も落ち着き、日常を取り戻した感がありますが、世界に目を転じると戦争・異常気象による災害、食糧や資源の不足等々の難題が山積しています。そのような社会・経済環境の中であっても、経営者は、家庭・会社を守り、未来を切り拓くことが求められています。倫理法人会は、そのような志を持った経営者の集まりであり、「明朗」「愛和」「喜働」の実践集団として足下の実践に努めます。令和7年度は、下記に示す活動を精力的に行い、「明るく 楽しく ためになる倫理法人会」に加え、「スマートでハイセンスな会」とします。

1. 令和7年度倫理法人会活動方針重点事項を強力に進めます

- ①「人は鏡」・「自分も鏡」の実践を通じて、経営者の実践力の向上を図り同志の輪を拡げます。
- ②「会員の増大」と「新入会者の定着」により、「倫理的判断力」を有する実践者を増大します。
- ③「委員会制度の安定と定着」により、「普及活動を強力に支援」します。

2. 何のための活動か

「純粹倫理を世の中の常識にしていく！」

地域社会の発展や日本創生、その為の普及です。まず会員となって学び、企業を、家庭を、より良くしていき（倫理体験）、その体験談を周囲に伝えていきましょう。（普及）

3. 活動指針

- ①いい会をめざします。⇒ 明朗・愛和・喜働が正しく実践されていること
- ②「人は鏡」を共通の実践として推し進め「倫理的判断力」を磨きましょう
- ③「輝く倫理法人会」となるため、以下に取組みます。
 - 1) モーニングセミナーの活性化
 - 2) 活力朝礼の普及向上
 - 3) 倫理経営基礎講座 受講の向上
 - 4) 倫理指導受講の向上（「倫理指導の部屋」創設）
 - 5) 新入会者の定着
- ④岩手県倫理法人会設立記念日（9月19日）の活動



4. 地区制について

6年度の実績を踏まえて、更なる地区制のメリットを追求します。

5. 普及目標

令和7年度 1,400社

6. 令和7年度岩手県倫理法人会スローガン

企業に倫理を 職場に心を 家庭に愛を
希望を高く 掲げよう 自ら動こう 1,400社
新たな時代を 突き進もう！



令和7年度

岩手県倫理法人会「年度はじめ式」開催

9月9日(月)、令和7年度岩手県倫理法人会「年度はじめ式」が、遠野市の“あえりあ遠野”において行われました。国歌斉唱後に、一般社団法人倫理研究所 和田毅局長より辞令交付が行われました。

岩手県倫理法人会 日當和孝会長から「1枚の辞令に心を込めてお役を受け、このお役をしっかりとって頂きたい。スマートでハイセンスな会を実現する活動をお願いします」とお話しがありました。その後の決意発表では、地区ごとに単会会長が壇上で決意発表。決意発表した決意文を各地区長に渡しました。

一般社団法人倫理研究所 和田毅局長からの式辞を頂戴して閉会。

懇親会では66名の参加があり、大いに盛り上がりました。この人数参加と盛り上がりは、今年度の力強いスタートを感じさせるものでした。(文責 遠藤哲也)



正副委員長への辞令交付



単会会長決意発表(県央地区)

岩手県倫理法人会役員



副会長
佐藤 功



副会長
小川 隆夫



副会長
伊藤 明美



幹事長
角田 直樹



副幹事長
中村夢美子



副幹事長
北田 一郎



事務長
佐々木正則



副事務長
佐藤 美幸



監査
川村 幸子



監査
中村 一法



相談役
又川 俊三



相談役
菊池長一郎



相談役
三田 望



相談役
中村久美子



相談役
佐々木正博



相談役
佐々木勝智



相談役
宮澤 俊次



相談役
及川 元一

単会会長・専任幹事紹介

令和7年度の各単会の会長ならびに専任幹事を紹介します。

また、活動方針 **明るく、楽しく、ためになる**

実現に向けて、単会会長の決意発表を紹介します。



県央地区長
阿部 修自



県央副地区長
又川 統一



県南地区長
小川 廣文



県南副地区長
松田 昇



沿岸地区長
菊池 一彦



沿岸副地区長
佐藤 仁昭

盛岡市倫理法

《重点活動目標》

- ①チーム編成をして毎月役する。
- ②モーニングセミナー終了後、15分間オリエンテーション。

《実践目標》

中間目標 **145社**



会長 鈴木 幸江

紫波・矢巾倫理法人会

《重点活動目標》

- ①役職者と会員様の結束力の強化
- ②職場の教養の活用 未会員様への配布 5～10社配布
- ③親睦会の開催 年4回（未会員様を交えて）

《実践目標》

中間目標 **95社** 年度末目標 **101社**



会長 小笠原光則



専任幹事 小野寺正高

花巻市倫理法人会

《重点活動目標》

普及をセールス部門、アフターサービス部門、2部門を編成し、役員の得意分野を引き出し、効率良く、楽しく普及をしモーニングセミナー会場に普及状況を会員に掲示し、意識を高めていきます。

《実践目標》

中間目標 **178社** 年度末目標 **180社**



会長 晴山 正基



専任幹事 戸田 誠治

奥州市倫理法

《重点活動目標》

倫理を好きな仲間たちとゲストに参加頂く、基本はモーニングセミナー。

《実践目標》

中間目標 **72社**



会長 及川 健

遠野市倫理法人会

《重点活動目標》

最高のONE TEAMとなり、倫理の「和」を広げ、モーニングセミナーの充実化で動員を図り、仲間づくりと拡充に努め目標達成。

《実践目標》

中間目標 **107社** 年度末目標 **107社**



会長 井出 修



専任幹事 菊池 哲也

久慈市準倫理法人会

《重点活動目標》

定期的に30人モーニングセミナーを開催することで、既存会員の参加向上と活力あるモーニングセミナーを目指す。

《実践目標》

中間目標 **80社** 年度末目標 **100社**



会長 雷 哲也



専任幹事 岡野 友保

釜石市準倫理

《重点活動目標》

モーニングセミナーにゲスト化させ、釜石らしい普及仲間と共に、「参加して良し」。

《実践目標》

中間目標 **52社**



会長 木村 仁寿

人会

員全員で仲間づくり活動を
後に、オブザーバー用に「5
」を実施する。

年度末目標 **145社**



専任幹事 岩崎 純

盛岡みなみ倫理法人会

《重点活動目標》

①楽しい会にするために、交流会を年6回開催します。
②役員の意識共有を図るため、役員会後には懇親会を
します。

《実践目標》

中間目標 **61社** 年度末目標 **65社**



会長 水本 静夫



専任幹事 千葉 伸行

二戸市倫理法人会

《重点活動目標》

未会員を経営者の集い・モーニングセミナーにお
誘いして入会への動機づけとし、普及に努めるこ
と。

《実践目標》

中間目標 **55社** 年度末目標 **60社**



会長 足立 裕



専任幹事 小軽米健太

人会

その輪をひろげ、多くの
忠実で笑顔あふれるモー

年度末目標 **80社**



専任幹事 佐々木富士子

一関市倫理法人会

《重点活動目標》

1にも2にも3にも普及、普及、普及。モーニングセ
ミナーを柱として役員スタッフが心を合わせ、明るく、
楽しく、ためになる企画をする。役員総出で訪問する。

《実践目標》

中間目標 **107社** 年度末目標 **111社**



会長 佐々木司耕



専任幹事 佐々木謙一

北上市倫理法人会

《重点活動目標》

普及ツールを活用し情報の共有とコミュニケーションの場をつくり、みんなで楽しむ事。

《実践目標》

中間目標 **171社** 年度末目標 **175社**



会長 伊藤 正治



専任幹事 菅原かずみ

法人会

トを招待し、今より更に活
活動を着実に実行し、新し
「良かった」を重点目標にしま

年度末目標 **52社**



専任幹事 平松眞紀子

宮古市倫理法人会

《重点活動目標》

会員同士が感謝をもって、つながること。

《実践目標》

中間目標 **93社** 年度末目標 **101社**



会長 佐藤 隆一



専任幹事 伊藤 峻

けせん倫理法人会

《重点活動目標》

会員企業への訪問を毎月欠かさず実施する事。

《実践目標》

中間目標 **122社** 年度末目標 **126社**



会長 志田美智子



専任幹事 松岡 研二

令和7年度 委員会の紹介

モーニングセミナー委員会



委員長 鈴木 哲
(一関市倫理法人会)



副委員長 上野 真司
(二戸市倫理法人会)

朝礼委員会



委員長 工藤 晴香
(盛岡みなみ倫理法人会)



副委員長 山縣 春雄
(紫波・矢巾倫理法人会)

研修委員会



委員長 佐々木 幸人
(盛岡みなみ倫理法人会)



副委員長 佐々木 剛
(花巻市倫理法人会)

広報委員会



委員長 遠藤 哲也
(北上市倫理法人会)



副委員長 津田 徳明
(盛岡市倫理法人会)

女性委員会



委員長 小野寺 あずさ
(一関市倫理法人会)



副委員長 佐藤 和美
(宮古市倫理法人会)

キャリア委員会



委員長 山内 道治
(宮古市倫理法人会)



副委員長 臼澤 勉
(紫波・矢巾倫理法人会)

倫理塾委員会



委員長 唯是 光裕
(遠野市倫理法人会)



副委員長 高橋 信一
(北上市倫理法人会)

青年委員会



委員長 佐々木 朋和
(一関市倫理法人会)



副委員長 佐藤 聡一郎
(奥州市倫理法人会)

岩手県倫理法人会女性委員会主催

令和7年度
テーマ

「輝きたい人・輝いている人・輝かせてあげたい人
みなさまご縁でつながりましょう」

アフタヌーンセミナー 「天命に運ばれる生き方」

講師 **米澤 忍**

株式会社スマレボ 代表取締役
大阪府倫理法人会 幹事長

日時 12月9日(月)

1部 セミナー：14：00～14：50

2部 アフタヌーンティー交流会：15：00～16：00

会場 なはんプラザ花巻(花巻市大通り1-2-21)

参加費 1,000円(1部・2部共通)



地図

●申込方法：スマホから「カンタン申込み」。または、岩手県倫理法人会 HP
をご覧ください。



カンタン申込み

倫理経営塾委員会

第7期岩手倫理経営塾 塾生募集!

岩手倫理経営塾は令和1年に第1期をスタートし、今年度で7期目を迎えます。平成26年度の第15期宮城倫理経営塾からの卒塾生を合わせると、総勢56名の卒塾生を輩出しており、現在では県役員をはじめ、単会会長や専任幹事、その他様々な役を担って頂いております。

倫理経営塾の目的は、倫理経営に基づいた経営者の実践者を育成し、地域社会や岩手県倫理法人会で活躍する人材を輩出することです。塾は、会員企業がより発展するため、会社の原点でもある経営理念の作成を中心に取り組みます。テーマとして「恩意識の経営」を掲げ、日頃から支えて頂いている方々に恩意識を持った経営者になるよう、倫理経営を取り入れ、さらには財務分析、経営戦略など、経営塾に携わる様々な業種の経営者の力を借りながら、最終的には魂のこもった経営計画書を作成いたします。その辺のセミナーとは全く違います。これからの人生をかけた倫理経営塾です。全てのスケジュールに参加をお願いします。興味のある方は予めスケジュールをお願いします。

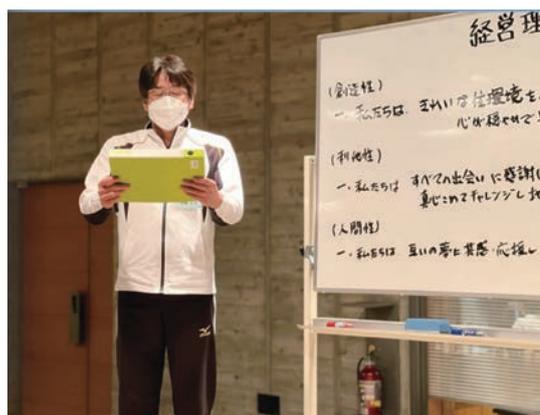
◆開講期間

- 第1講 令和7年3月1日(土)、2日(日)
- 第2講 令和7年4月5日(土)、6日(日)
- 第3講 令和7年4月25日(金)、26日(土)、27日(日)
- 第4講 令和7年5月10日(土)、11日(日)
- 第5講 令和7年6月14日(土)、15日(日)
- 第6講 令和7年7月12日(土)

◆参加申し込み：令和6年12月6日(金)からの予定

◆受講費用：170,000円予定

※詳しくは、岩手県倫理法人会 HP をご覧ください。





倫理との出会いと今

北上市倫理法人会

伊藤 輝彦

フリーランスのフォトグラファーとして独立開業したものの、顧客開拓や事務作業などすべてを一人で行う中、将来に対する不安が常に頭の中にありました。新しい繋がりを作りたいという思いもあり、多くの経営者の話を聞くことでヒントを得られるのではないかと期待して、昨年5月に北上市倫理法人会に入会しました。

モーニングセミナーに参加してみると、多くの経営者たちが倫理の教えを実践し、経営や人間関係にポジティブな変化をもたらしている姿に感銘を受けました。特に「明朗・愛和・喜働」という考え方は私の心に深く響きました。写真を撮ることで瞬間の美しさや感動を未来に残しお客様の喜びを実現する

という責任を持っていますが、倫理の教えを通して、仕事に対する喜びをさらに強く感じることができました。

倫理法人会での学びは、仕事だけでなく、私生活や人との関わり方にもプラスの影響を与えています。人との繋がりも広がり、多くの方々と意見を交わす機会が増えたことで、将来への不安も少しずつ解消されているように感じます。

倫理との出会いは、私に新たな視点を与え、フォトグラファーとしての活動にも、そして経営者としての成長にも、さらなるエネルギーをもたらしてくれました。この出会いと学びを通じて、周囲への感謝の気持ちを忘れずに、また自分自身を愛し、未来に向けて前向きに進んでいきたいです。



『万人幸福の葉』

夫婦は一对の反射鏡（夫婦対鏡）

人は男性と女性と、なぜ二様になっているのであろうか。これは、人に限らず、陰と陽と、+（プラス）-（マイナス）二通りの対立と、その合一によって万象を、生命を、幸福を生み出すように出来ている。正々発展は、相反する二つの力がとけあって一つになったとき生まれる。

夫婦は合一によって、無上の歓喜の中に、一家の健康と、発展、もろもろの幸福を産み出す。

ただに子女を設けて、子孫繁栄のもとを成すばかりではない。

これがあたらしい倫理の一つの大きい特色である。夫婦の一致和合こそは、幸福のもとである。どうしたら完全な一致が出来るであろうか。

夫婦が互いに相手を直したい思うのは逆さである。ただ自分をみがけばよい。その時、相手は必ず自然に改まる。夫婦は、いつも向いあつた一組の鏡である。（抜粋版）

奥州市出身の大谷翔平選手が在籍するドジャースが、ワールドシリーズに一步近づいた。パドレスが2勝し崖っぷちと言われても、大谷翔平選手は「そんな悲観的には捉えていない。あと2連勝するだけ」とインタビューに答えていた。そして有言実行のように2連勝して次のステージへの切符を手にしたのである。

大谷翔平選手こそ、倫理の実践者であり、お手

本だと私は強く感じている。挨拶をしっかりする。ゴミが落ちていたら拾うなど、挙げれば切りが無いほど実践されている。大谷翔平選手は「運命自招」を目の前で私達に理解させてくれている。

ワールドチャンピオンに輝く大谷翔平選手を是非見てみたいと強く思う。

奥州市倫理法人会 広報委員長 菊池 達哉